

7月2日(木)、山形県庄内総合支庁建設部の「スキルアップ塾」が開催され、建設行政に携わる山形県と酒田市の職員50名が参加されました。

フローティングドック(FD)を使用してケーソンを製作している状況を間近で見ながら工事担当者から説明を受けました。参加された方からは、「酒田港の整備状況を知ることができ、普段はあまり見ることができない現場を見学できた」との声をいただきました。



酒田港の説明を行う池田武司所長



工事の説明を行う株本間組金子所長



FDでのケーソン製作現場の見学



模型による進水・浮上実験